

広島県中小企業団体中央会 2015年12月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

12月の出荷量は前月比8.2%減少、前年同月比2.9%増加、売上高は前月比8.6%減少、前年同月比4.2%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成27年11月の全国の住宅着工戸数は79,697戸で、前年同月比では1.7%増加、季節調整済年率換算値では88.6万戸（前月比2.8%増加）となった。利用関係別では、持家は25,310戸で前年同月比3.5%増加、貸家は33,505戸で前年同月比2.6%増加、分譲住宅は20,503戸で前年同月比2.5%増加となった。なお、木造住宅の着工数は47,485戸で、前年同月比5.3%増加となった。

住宅着工の動向は、一昨年4月の消費税増税前の駆け込み需要の反動減の大きかった持家についても7ヶ月連続の増加となるなど、全体として持ち直しの傾向が続いている。分譲マンションの着工については全体として減少したが、これは中部圏・近畿圏で大規模な物件が減少したことによるもので、首都圏・その他の地域では増加しており、引き続き今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の着工戸数は1,383戸で前年同月比6.0%の増加となった。このうち、持家は510戸で前年同月比6.5%の増加、貸家は544戸で前年同月比12.0%の減少、分譲は329戸で前年同月比58.2%の増加となった。地域別では、広島市は着工戸数600戸で17.4%増加、福山市は着工戸数316戸で23.9%増加、東広島市は118戸で40.5%増加となる一方、呉市、廿日市市などは対前年同月比減少と地域間でばらつきがあり、会員の一部には受注増で業況が好転しているとの声もあるが、全体的には景況回復は十分とは言えず、経営状況は依然厳しいとの声も多く、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

円安の進行にもかかわらず、国内景況感の改善は感じられず、特に自動車業界においては、自動車メーカーの好決算に対し部品メーカーは国内生産台数減、プライスダウン要請や原材料高、人件費の高騰を受け、大変厳しい状況にある。昨今の円安効果には疑問を感じている。今後アメリカの金利の引き上げが実施されるとさらなる円安状況を招き、国内物価上昇、国債の信認低下が起きる可能性も考えられ、安心して国内で雇用拡大、投資拡大をする雰囲気ではない。さらに、最近の中国における株安から始まる中国経済のバブル崩壊の懸念が現実味をおびてきており、景況の先行き感は誠に不透明である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

今月は前月に比べて全体的に売上は横ばい又は若干上昇傾向にある。米国金利が上がり、市場では予定通りと見ており、大きな変化は見られない。円安の状態で安定しているため、国内での生産はこのまま継続し、安定した状態が続くと思われる。しかし、世界情勢は中東をはじめ欧州等何が起こり、経済に影響を及ぼすか予測がつかない1年である。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

27年12月 3,219 m³ (対前年 1.2%減少)

27年11月 3,147 m³

26年12月 3,259 m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

貸し倉庫の問い合わせが変わらずあるが、近隣では空きがない状況が続いている。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区において、航空機関係で組み立て機種拡大により、高操業が続いている。タービン・コンプレッサ、製鉄機械、ゴムタイヤ機械等は低操業である。それに伴い、協力会社各社の操業は製品機種毎で操業にばらつきがある。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、前月比変化なし、前年同月比 5%増加となった。

電気機器

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、前月比、前年同月比共に変化なしとなった。国内物件は下降気味であるが、輸出物件は増加している。

最低賃金を 1,000 円にとの議論がなされているが、実現されると電機業界の 2 次下請けは倒産してしまう。賃金の高騰が続いているので、収益や人員確保に大きな問題がでている。人材派遣会社の規制が必要だと思う。人材確保の課題が鮮明である。賃金の問題は深刻である。

平成 27 年度補正、28 年度予算(特に補助金関係)の説明会をお願いしたい。マイナンバーの運用に問題はないのであろうか。混乱が起きることを危惧している。

輸送用機器

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

12 月の国内自動車販売台数は全需が 369 千台、前年同月比 14.5%減少と 12 ヶ月連続の前年割れとなった。

登録車は前年比 3.1%増加と 3 ヶ月連続の前年超え、軽自動車は 34.8%減少と 12 ヶ月連続の前年割れとなった。マツダ車は 24.8%減少と 3 ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの 11 月の全需は 1,320 千台で前年同月比 1.4%増加と 3 ヶ月連続の前年超え。マツダ車も同 7.0%増加と 3 ヶ月連続の前年超えとなった。

欧州の 11 月の全需は 1,282 千台で、前年同月比 1.5%増加と 2 ヶ月振りの前年超えとなった。マツダ車は同 15.0%増加と 6 ヶ月連続の前年超えとなった。

中国の 11 月の全需は 2,312 千台で、前年同月比 10.6%増加。マツダ車も 10.3%増加と 10 ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の11月の海外販売合計台数は124千台、前年同月比11.1%増加で29ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの11月の輸出動向については、輸出台数は全体で前年比24.2%増加と3ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの11月の国内生産台数は、前年同月比41.3%増加と6ヶ月連続の前年超えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成27年12月の船舶建造許可実績は7隻426,330総トン（前月3隻60,900総トン、前年同月11隻844,000総トン）であった。なお、7隻のうち6隻が貨物船、1隻が油槽船で国内船が1隻、輸出船が6隻となっている。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

船舶関連において、中国で製作し輸入している企業は（輸入はドルのため）円安により収益が悪化している。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

景況は上昇傾向ではあるが、予断を許さない状況である。1月、2月は得意先の催事や学習デスク販売のピークとなるため、期待したい。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合福山卸センター

暖冬の影響で商品売り上げが低調であり、特に作業服、婦人服の在庫が増加している。

協同組合広島総合卸センター

中東情勢・中国情勢・米国の金利引き上げ等国際情勢の変化が国内経済にも及んでいる。石油製品下落は中小企業にとって歓迎だが、株価安や暖冬による消費低迷等により景況感は良くない。

「資材関連」においては、公共工事は件数・金額ともに前年割れ、新設住宅着工件数も減少しており、資材卸業者は再度競争が激化、採算性の低下が見込まれている。

「食品」においては、12月の売上は前年同月比横ばい、採算面は低下している。暖冬により冬物商材は低迷している。

「繊維」においては、12月も暖冬の影響により冬物衣料は低調に推移した。販売先小売店では衣料品全般で1割程度売上が減少しているようである。

「雑貨」においては、生活雑貨については、概ね前年並みで推移している。カイロ・マスク等冬物商品が低調である。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

太陽光設備の減少（住宅用、メガソーラー共に）による売上減は否めない。今後はより質の高い提案活動を検討していく必要がある。

世の中の省エネに関する関心は非常に高まっており、我々電設業界の商材は、工場・ビル等の高圧から住宅用の低圧まで幅広く扱っており、今後も魅力ある業界である。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

10月末に閉店した加盟店が12月末で1社退会した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国内ではい草の定植も終わり、年末にかけての製織をハイピッチで行っている。需要は師走ということもあり、日に日に増加している。ただし、この勢いもクリスマス頃までで、年初めは一転し各店とも落ち着いていると思われる。

中国では、古物を中心に製織・販売の状況にある。新草での製織は注文生産のみで、全体的に小幅な動きとなっている。高値で売りたい中国サイドに対し、日本国内の輸入業者筋では在庫との兼ね合いからまず手持ちの在庫を一掃し相場を見ながら輸入へ転じるとと思われる。日本国内の畳表需要が依然として増加に転じていないため、先行き不透明感から慎重にならざるを得ない。

小売業

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

12月は昨年のような積雪がなく、来店客数は安定していた。

チューリップチェーン商業協同組合

11月より利益率の高い外売りが増加したが、主力組合員の売上が大幅に減少したため、売上は全体では前年同月比減少となった。一方、利益率の高い外売り増加の影響により収益は増加したが、組合員の売上に比べ、代金回収サイトの長い外売りが増えたことで、資金繰りが悪化している。

店売りは12月の暖冬の影響により、例年売れる商品がまったく売れず、特に歳末商戦は苦戦した。また、例年に比べ雨が多く、来店客数が減少した。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

12月度の販売実績は前年同月比 0.2%増加となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比 2.5%減少、BD レコーダー0.2%増加、音響・車載機器同 1.3%増加、冷蔵庫同 4.8%減少、洗濯機同 14.1%増加、エアコン同 2.4%増加、エコキュート同 1.2%減少、IH クッキングヒーター同 0.7%減少となった。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

生活の仕方が変わったのか、生活に余裕がないのか、12月の金曜日でも夜の人通りは少ない。今年1年を通して感じたことは、全体的に商店街の通行量が減少したが、昼間は高齢者の通行が多くなったことである。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比 9.1%減少、前年同月比 8.0%増加。車検場収入は前月比 6.8%減少、前年同月比 8.2%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比 19.4%減少、前年同月比 3.6%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

構成員の持場がはっきり分けられつつあり、こちんまりと仕事をする事で体力の温存を図っているのが現状である。

建設業

●工事業

神辺建設業協同組合

各自治体の発注工事は年度末を控え、年度内工期などの要因から減少傾向にある。今後小規模工事主体の案件が増加するものと思われる。

福山地区電気工事業協同組合

12月における工事受注件数は、前月比1%減少、前年同月比13%減少となった。

経済産業省主導で本年4月より電力小売全面自由化が始まる。中国電力株式会社管内も新規小売事業者が現在17社、登録を予定している。このため各社の電気料金メニューが1月中には発表されるため、お客様にわかりやすく、誇大広告をしないようきめ細かな調整をお願いしたい。

広島県室内装飾事業協同組合

12月の売上については、前月比12%減少、前年同月比32%増加となった。

前月比で見るとカーテン工事が10%増加、敷物工事は10%増加、壁装工事は29%減少と壁装工事が大幅な減少となった。

前年同月比では、カーテン工事は80%増加、壁装工事は9%増加、敷物工事は49%減少と大幅な減少となった。

工事物件については、前年累計で8%増加と微増であるが、壁装工事が15%増加となった。内装工事全体では前月比は減少であったが、前年同月比、前年累計共に増加となっている。依然企業間格差は大きくなっている。内装業全体では幅広く工事が動き始めている。

運輸業

●道路貨物運送業

広島県ロジネット協同組合

12月の荷動きは、昨年同様第3週をピークに21日から月末まで荷物量は緩やかに動いた。全体的に荷物量は堅調で昨年よりやや上回った。また、ここ数年平タイプの車両が少なくなっているため、平車の確保に苦労したようであるが、全体としては荷物量に対し、車両をなんとか確保できたようである。

軽油価格において、11月はメーカーの値上げ傾向で推移していたが、12月に入り、市場も含めてマイナス3円/L程度で推移した。国際情勢は不安定であるが、今のところ大きな値上げはないと感じている。業界として安値は歓迎であり、喜ばしい傾向である。

松永地区トラック事業協同組合

12月は柑橘類や冬季関連貨物の出荷が本格的に始まり、県内各地で車両不足となった。しかし、車両不足を理由に得意先からの通常の輸送依頼は断れないため、自社で輸送できないものは同業者で連絡を取り合い、お願いしている状態である。そうすると輸送原価が高くなり、利幅が薄いのが実態である。

幸い軽油単価が下がったため、運賃は上がらないが収益状況は好転に向かっている。

暖冬の影響で冬物衣料の動きが悪く、今後の天候により1,2月の荷動きが変わってくると思われる。

広島輸送ターミナル協同組合

燃料価格が下がってきたため、景況感は改善されてきた。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比は 11 月のやや悪化した状況に対し、12 月も公的評価作業のため、一般評価産業がほとんど行えなかったため、変化はない。前年同月比も変化なし。

不動産動向については、やや鈍化傾向が続いている。12 月に新規加入組合員が 1 名あった。